

令和6年度

# 農政部施策概要

令和6年6月

山梨県農政部



## 【 目 次 】

はじめに	1
1 生産・流通・販売の三位一体の高度化	2
(1) 高品質・安定生産による競争力の強化	2
ア 果樹	2
① 優良品種の開発・普及と高品質・安定生産技術の普及	
② すもも・ももの輸入解禁を踏まえた産地競争力強化への支援	
③ ワイナリーの需要に応じた醸造用ぶどうの生産拡大に向けた支援	
イ 野菜	5
① 主要野菜産地の強化に向けた支援	
② 地域の特性を生かした特産野菜の生産拡大に向けた支援	
ウ 水稻等	6
① 所得の安定に向けた技術の実証・普及等	
② 水田のフル活用の推進	
エ 花き	7
① オリジナル花き等の生産拡大に向けた支援	
② 高品質化や用途拡大に向けた技術の開発・普及	
オ 畜産	7
① 畜産農家の経営安定に向けた支援	
② 低コスト化・高付加価値化に向けた技術の開発・普及	
③ 畜産ヘルパー組織の強化による畜産農家への支援	
カ 水産	9
① ブランド魚の養殖技術の確立・普及	
② 内水面漁業者の経営安定に向けた支援	
キ 地域特産物	10
① 茶の高品質・安定生産技術の普及	
② 新たな特産品目の生産拡大に向けた支援	
(2) 先進的技術の導入による生産性の向上	11
① 中心経営体の育成	
② 中心経営体への農地の集積等の促進	
(3) 農畜水産物等の高付加価値化の推進	12
① 4パーミル・イニシアチブの取り組みの拡大	
② アニマルウェルフェアの取り組みの拡大	
③ やまなしジビエ認証制度の推進	

(4) 安全・安心で持続可能な農業の推進	13
① 環境負荷低減に向けた取り組みの推進	
② 肥料・飼料等の高騰対策の推進	
③ 異常気象に対応した農業の推進	
④ 家畜等の疾病対策と防疫体制の強化	
⑤ 安全・安心な農畜産物の生産拡大に向けた支援	
⑥ 普及指導体制の更なる強化	
(5) 品質管理の徹底と効率的な流通体制の構築	16
① 農畜水産物の出荷体制の整備	
② 果実の品質管理を徹底した出荷・輸送体制の構築	
③ 食肉の輸出拡大に向けた流通体制の整備	
④ ふるさと納税返礼品の品質の確保	
(6) 販路拡大と6次産業化の推進	17
① 農畜水産物等の販路拡大	
② 農業の6次産業化の推進	
③ 規格外農産物を活用した新商品の開発支援	
④ 地域の販売集客拠点での販売対策等への支援	
⑤ 農産物直売所等の施設整備への支援	
⑥ 学校給食における地産地消の促進	
(7) 輸出の更なる拡大	18
① 新たな輸出先の開拓	
② 輸出促進に向けた新たな体制づくり	
2 戦略的ブランドプロモーションの展開	19
(1) 効果的なプロモーションの推進	19
① アジア地域を中心としたプロモーション活動の実施	
② 国内へのプロモーション活動の実施	
(2) 「やまなし」ブランドの確立	19
① 県産農畜水産物等のブランド力強化の推進	
② 美酒・美食を通じたブランド力強化の推進	
3 明日の農業・農村を担う人財づくり	21
(1) 新規就農者の確保・定着	21
① 就農支援サポート体制強化の実施	

- ② 就農定着に向けた支援の充実
- ③ 就農希望者の増加に向けた普及啓発の推進

## (2) 多様な担い手の育成 23

- ① 中核となる担い手の育成
- ② 地域を支える担い手の育成
- ③ 多様な労働力の確保と障害者の農業分野での就労促進

## 4 農村地域の保全と基盤整備 24

### (1) 担い手への農地の継承と集積・集約等の推進 24

- ① 地域計画の策定による担い手への農地の継承と集積等の推進
- ② 荒廃農地の発生防止と再生・活用の推進

### (2) 産地の競争力強化に向けた基盤整備の推進 27

- ① 果樹産地等の競争力強化に向けた基盤整備の推進
- ② 担い手への農地の集積・集約化に資する基盤整備の推進

### (3) 農村地域の保全・活性化 29

- ① 都市と農村を結ぶ農泊プログラムの推進
- ② 農福連携の推進
- ③ 農業・農村地域の多面的機能の保全と活用
- ④ 農村地域の環境保全に向けた基盤整備の推進
- ⑤ 野生鳥獣害等による農水産物の被害軽減対策の推進
- ⑥ 世界農業遺産の保全・活用

## 5 防災・減災対策による農村の強靱化 32

### (1) 農村地域の防災・減災対策の推進 33

- ① 農業用施設の耐震化の推進
- ② 農業用水利施設等の整備の支援

### (2) 農業用施設の長寿命化の推進 33

- ① 農業用施設の長寿命化の推進

## 付表 補助対象別主要事業一覧

## はじめに

本施策概要は、農業者をはじめ県民の皆様に令和6年1月に策定した「やまなし農業基本計画」に基づいて本年度農政部が取り組む主な事業等について知っていただき、活用していただくためにとりまとめた資料です。

### <やまなし農業基本計画>

新たな県政運営の基本指針となる「山梨県総合計画 2023年策定版」の部門計画であり、本県農業の目指すべき中長期的な構想と令和5年度から4年間に実施する施策・事業の内容、行程などのアクションプランを示す本県農業振興の指針となる計画です。詳細は、「やまなし農業基本計画」を御覧ください。

掲載サイト：[https://www.pref.yamanashi.jp/nousei-som/r5\\_kihonkeikaku.html](https://www.pref.yamanashi.jp/nousei-som/r5_kihonkeikaku.html)

○計画期間 令和5年度～令和8年度（4年間）

○目 標 「生産者の所得の向上」を実現するため「農畜水産物のブランド価値の向上」と「生産基盤の更なる強化」の2つの目標を掲げ、次の5つの柱に分類した施策に関係機関と一体となって取り組む

#### I 農畜水産物のブランド価値の向上

- 1 生産・流通・販売の三位一体の高度化
- 2 戦略的ブランドプロモーションの展開

#### II 生産基盤の更なる強化

- 3 明日の農業・農村を担う人財づくり
- 4 農村地域の保全と基盤整備
- 5 防災・減災対策による農村の強靱化

○重点施策 ①「やまなし」ブランドの確立  
②高品質化と高付加価値化の推進  
③担い手の確保・育成と生産基盤の整備

# 1 生産・流通・販売の三位一体の高度化

## (1) 高品質・安定生産による競争力の強化

### ア 果樹

#### ① 優良品種の開発・普及と高品質・安定生産技術の普及

##### ●(当初)「サンシャインレッド早期産地化推進事業費補助金」

(果樹・6次産業振興課 6, 126千円)

内容: シャインマスカットの特性を引き継ぐ県オリジナル品種のぶどう「サンシャインレッド」の早期産地化を図るため、苗木を生産する取り組みに対し助成する。

補助先 (公財) 県農業振興公社

補助率 10/10 (県単)

##### ●(当初)「職務発明推進費」(農業技術課 1, 265千円)

内容: 職務発明に係る種苗登録料及び特許料等を支払い、知的財産権を保護する。

##### ●(当初)「県産ブランド果実海外品種登録推進事業費」(農業技術課 12, 720千円)

内容: ブランド品種の海外への流出を防止し、本県ブランド果実の保護を図るため、中国・韓国での品種登録等を行う。

##### ●(当初)「県オリジナル品種産地確立事業費補助金」(果樹・6次産業振興課 1, 317千円)

内容: オリジナル品種の産地確立を図るため、その普及とブランド化に向けた取り組みに対し助成する。

補助先 全農山梨県本部

補助率 1/2 (県単)

##### ●(当初)「民間育種選抜支援事業費補助金」(果樹・6次産業振興課 500千円)

内容: 民間で育種選抜された優良系統の品種登録を支援する。

補助先 (公社) 山梨県果樹園芸会

補助率 1/2 (県単)

##### ●(当初)「ぶどうウイルスフリー苗供給対策事業費」(果樹・6次産業振興課 6, 791千円)

内容: ぶどうの高品質化に向けて、原母樹園の設置管理やウイルス検定等を行う。

##### ●(当初)「普及活動費」(農業技術課 118, 665千円のうちの一部)

内容: 農家を対象とした農業改良普及指導活動を行う。

##### ●(当初)「ブドウ晩腐病防除対策の総点検～菌種と生態の視点から～試験費」

(農業技術課 2, 000千円)

内容: 本県におけるブドウ晩腐病の菌種の分布を明らかにするとともに、各菌種の感染時期や薬剤の防除効果等を詳細に調査することで、これまでの防除体系を新たな視点で総点検する。

##### ●(当初)新「ブドウの早期選抜システムの確立試験費」(農業技術課 2, 600千円)

内容: ブドウの早期選抜に向け、新たな選抜基準を作成するとともに、選抜中の多くの実生群を無毒のまま省力的に維持できる方法を検討し、早期選抜システムを確立する。

##### ●(当初)「スモモの低樹高・省力化樹形の確立試験費」(農業技術課 1, 383千円)

内容: スモモの低樹高・省力化樹形の確立に向け、簡易棚を用いた一文字仕立ての検討を行う。さらに既存の平棚での一文字仕立ての適応性の検討を行う。

- (当初) **新**「**県オリジナルブドウ「サンシャインレッド」の安定生産技術の確立試験費**」  
(農業技術課 3,500千円)  
内容：県オリジナル品種ブドウ「サンシャインレッド」について、高品質化や早期産地化を図るため、品質を維持したまま省力的に栽培できる新たな技術を開発する。

- (当初) **新**「**ブドウ「シャインマスカット」未開花症の発生要因の解明試験費**」  
(私学・科学振興課 6,196千円)  
内容：シャインマスカットの生産性の低下をもたらす未開花症の全国的な発生実態の調査および発生園地の状況調査を行い、未開花症発生条件の解析を実施する。

- (2補) **臨**「**ブドウ「シャインマスカット」の未開花症の発生軽減に向けた栽培管理技術等の開発・実証試験費**」  
(農業技術課 3,000千円)  
内容：シャインマスカットの生産性の低下をもたらす未開花症の全国的な発生実態の調査および発生園地の状況調査を行い、未開花症発生条件や対応策の開発・実証を行う。

- (当初)「**やまなし未来創造農業推進事業費補助金**」(農村振興課 40,000千円)  
内容：生産者の更なる所得向上や地域を担う人材を育成していくため、先進的技術を導入した農業や4パーミル・イニシアチブ、異常気象への対応等の取り組みに対し助成する。

補助先 市町村  
事業内容 データ農業等先進技術、4パーミル・イニシアチブの導入、異常気象への対応等  
補助率 1/2(県単)

- (当初)「**果樹団地化促進支援事業費補助金**」(耕地課 10,000千円)  
内容：果樹産地における生産性の向上を図るため、ほ場整備時の果樹の伐採や育成等に対し助成する。

補助先 市町村等  
補助率 定額(県単)

## ② すもも・ももの輸入解禁を踏まえた産地競争力強化への支援

- (12補)「**やまなし産地生産基盤パワーアップ事業費補助金**」  
(果樹・6次産業振興課 284,885千円)  
内容：農産物の産地競争力の強化を図るため、高収益化や低コスト化に向けた取り組みに対し助成する。

補助先 市町村  
実施主体 農業者等  
内容 集出荷貯蔵施設の整備、簡易雨よけ用資材等の導入  
補助率 1/2

- (当初)「**すもも産地競争力強化支援事業費補助金**」  
(果樹・6次産業振興課 38,400千円)  
内容：米国産にほんすももの輸入解禁に伴い、県内すもも農家の生産体制を強化する。

- ・「**優良品種改植促進事業費補助金**」(23,400千円)  
補助先 市町村  
実施主体 農業者等  
事業内容 優良品種への改植  
補助率 定額(国 1/2、県 1/2)

- ・「**安定生産支援事業費補助金**」(15,000千円)  
補助先 市町村  
実施主体 農業者等  
事業内容 雨よけ施設の整備



補助率 2/4 (国 1/4、県 1/4)

- (当初)「もも産地競争力強化支援事業費補助金」(果樹・6次産業振興課 87,342千円)  
内容:米国产ももの輸入解禁に備え、県内もも農家の生産体制を強化する。

- ・「優良品種改植促進事業費補助金」(39,000千円)

補助先 市町村  
実施主体 農業者等  
事業内容 優良品種への改植  
補助率 定額(国 1/2、県 1/2)

- ・「安定生産支援事業費補助金」(48,342千円)

補助先 市町村  
実施主体 農業者等  
事業内容 生産資材の導入  
補助率 2/4(国 1/4、県 1/4)

- (12補)「施設園芸等経営強化支援事業費補助金」

(果樹・6次産業振興課 105,000千円)

内容:施設園芸農業者等の経営安定を図るため、生産コスト削減や生産性向上に向けた取り組みに対し助成する。

補助先 施設園芸農業者、水産養殖業者  
事業内容 機器整備、資材購入  
補助率 2/3

- (当初)「普及活動費」(農業技術課 118,665千円のうちの一部)P2再掲

- (当初)「県オリジナル品種産地確立事業費補助金」

(果樹・6次産業振興課 1,317千円)P2再掲

- (当初)「やまなし未来創造農業推進事業費補助金」(農村振興課 40,000千円)P3再掲

- (当初)「果樹団地化促進支援事業費補助金」(耕地課 10,000千円)P3再掲

### ③ ワイナリーの需要に応じた醸造用ぶどうの生産拡大に向けた支援

- (当初)「山梨県のフラッグシップとなる欧州系醸造用品種の選抜～ワイン特性の解明～試験費」(農業技術課 2,000千円)

内容:温暖な地域で栽培されている新たな欧州系品種について、本県におけるワイン特性を明らかにする。また、関係団体から要望された世界的にも注力されている欧州系品種を追加し、本県のフラッグシップとなる特色ある品種を選抜する。

- (当初)「ワイン産地確立推進事業費」

(果樹・6次産業振興課 23,861千円のうちの一部)

内容:世界に通用するワイン産地の確立を図るため、醸造用ぶどうの高品質化と生産拡大を図る。

- ・「優良系統選抜・供給事業費」(1,539千円)
- ・「栽培技術確立事業費」(4,396千円)
- ・「醸造用甲州ぶどう産地育成強化事業費補助金」(5,150千円)  
補助先 醸造用ぶどう安定取引推進会議  
補助率 定額(県単)

- (当初)新「ソワノワール早期産地化推進事業費」(果樹・6次産業振興課 7,684千円)

内容:県オリジナル品種の赤系醸造用ぶどう「ソワノワール」の早期産地化を図るための取り組みを行う。

- ・「苗木供給対策事業費補助金」（3,433千円）  
補助先 （公財）県農業振興公社  
事業内容 苗木の生産  
補助率 10/10（県単）
- ・「長期契約栽培推進事業費補助金」（2,200千円）  
補助先 醸造用ぶどう安定取引推進会議  
事業内容 苗木の新植・育成、ぶどう棚の設置等  
補助率 定額（県単）
- ・「母樹園管理費等」（2,051千円）
- (当初)新「有機栽培技術確立事業費」（果樹・6次産業振興課 4,174千円）  
内容：醸造用甲州ぶどうの有機栽培技術の確立に向けた実証を行う。  
事業内容 試験ほ場の設置等
- (当初)新「普及啓発事業費」（果樹・6次産業振興課 918千円）  
内容：ぶどう農家や醸造メーカーの有機ワインに対する理解促進に向けた普及啓発を行う。  
事業内容 講演会等の開催
- (12補)「やまなし産地生産基盤パワーアップ事業費補助金」  
(果樹・6次産業振興課 284,885千円) P3再掲
- (当初)「県奨励品種等種苗供給対策事業費補助金」  
(果樹・6次産業振興課 4,584千円)  
内容：果樹産地の維持・拡大を図るため、民間による供給が不十分な種苗を生産する取り組みに対し助成する。  
対象品種 醸造用甲州ぶどう  
補助先 (公財) 県農業振興公社  
補助率 10/10（県単）
- (当初)「普及活動費」（農業技術課 118,665千円のうちの一部） P2再掲
- (当初)「果樹団地化促進支援事業費補助金」（耕地課 10,000千円） P3再掲

## イ 野菜

### ① 主要野菜産地の強化に向けた支援

- (当初)新「やまなし野菜」産地強化事業費補助金（果樹・6次産業振興課1,500千円）  
内容：野菜産地の維持・発展を図るため、本県の特徴ある野菜の生産力強化に向けた取り組みに対し助成する。  
補助先 農協等  
補助率 2/4（国1/4、県1/4）  
補助額 1団体当たり250千円上限
- (当初)「野菜生産出荷安定対策費」（果樹・6次産業振興課 13,776千円）  
内容：野菜生産出荷安定法等に基づき価格差補給金を交付するための資金を造成する。
  - ・「野菜生産出荷安定資金造成事業費補助金」（11,858千円）  
補助先 (公社) 県青果物経営安定基金協会  
補助率 10/10（県単）
  - ・「野菜価格安定事業費補助金」（1,918千円）  
補助先 (公社) 県青果物経営安定基金協会

補助率 1/3、1/4、2/3（県単）

- (当初)「根深ネギの安定的な周年出荷技術の確立試験費」（農業技術課 2,000千円）  
内容：県産ネギの周年生産を行うための各作型に適した品種選定や品質向上対策技術を明らかにするとともに、連作障害回避のための輪作体系モデルを策定する。
- (当初)新「施設トマト栽培における「茎えそ細菌病」の感染防止対策技術の確立試験費」  
(農業技術課 3,000千円)  
内容：茎えそ細菌病の感染経路を調査し、効果的な防除対策を検討する。
- (当初)「普及活動費」（農業技術課 118,665千円のうちの一部）P2再掲
- (当初)「やまなし未来創造農業推進事業費補助金」（農村振興課 40,000千円）P3再掲
- (12補)「施設園芸等経営強化支援事業費補助金」  
(果樹・6次産業振興課 105,000千円) P4再掲

## ② 地域特性を生かした特産野菜の生産拡大に向けた支援

- (当初)新「やまなし野菜」産地強化事業費補助金」（果樹・6次産業振興課1,500千円）  
P5再掲
- (当初)「普及活動費」（農業技術課 118,665千円のうちの一部）P2再掲

## ウ 水稻等

### ① 所得の安定に向けた技術の実証・普及等

- (当初)「主要農作物等試験費」（農業技術課 3,870千円のうち一部）  
内容：主要農作物の品種比較試験や、主要作物原々種及び原種生産に係る試験を行う。
- (当初)「活力ある水田農業支援事業費補助金」（食糧花き水産課 45,000千円）  
内容：各産地が実施する高品質米、転作作物、加工用米等の栽培等の取り組みに対し助成する。  
補助先 市町村  
補助率 1/2、1/3（県単）
- (当初)「普及活動費」（農業技術課 118,665千円のうちの一部）P2再掲
- (当初)「やまなし未来創造農業推進事業費補助金」（農村振興課 40,000千円）P3再掲

### ② 水田のフル活用の推進

- (当初)「経営所得安定対策推進事業費補助金」（食糧花き水産課 43,317千円）  
内容：農業者等に対する経営所得安定対策制度の周知や加入促進を図るとともに、作付確認等に必要な経費について助成する。  
補助先 山梨県水田畑作農業再生協議会、市町村  
補助率 10/10（国補）
- (当初)「水田情報活用地域支援事業費補助金」（食糧花き水産課 1,829千円）  
内容：米の需給調整のため、農業者データや水田面積等の把握に必要な水田情報システムの運用管理等に対し助成する。  
補助先 県農業協同組合中央会

補助率 定額（県単）

- (当初)「活力ある水田農業支援事業費補助金」(食糧花き水産課 45,000千円) P6再掲

## エ 花き

### ① オリジナル花き等の生産拡大に向けた支援

- (当初)「花き振興促進事業費」(食糧花き水産課 9,658千円)  
内容: 本県花きの生産振興を図るため、研修会及び新品種等展示会の開催や優良種苗を生産・供給する。
- (当初)「普及活動費」(農業技術課 118,665千円のうちの一部) P2再掲

### ② 高品質化や用途拡大に向けた技術の開発・普及

- (当初)「やまなしの花産地生産力強化事業費補助金」(食糧花き水産課 250千円)  
内容: 県産花きの振興と生産力強化を図るため、花き産地の技術導入に向けた取り組みに対し支援する。
- (当初)「秋出しコショウランの省エネ品質向上技術の確立試験費」  
(農業技術課 1,700千円)  
内容: 秋出しコショウランの栽培光環境を改善し、省エネかつ品質を向上させる栽培技術を確立する。
- (当初)「普及活動費」(農業技術課 118,665千円のうちの一部) P2再掲
- (当初)「花き振興促進事業費」(食糧花き水産課 9,658千円) P7再掲
- (当初)「やまなし未来創造農業推進事業費補助金」(農村振興課 40,000千円) P3再掲

## オ 畜産

### ① 畜産農家の経営安定に向けた支援

- (12補)「畜産経営基盤パワーアップ事業費補助金」(畜産課 62,000千円)  
内容: 畜産農家の経営安定を図るため、生産コスト削減や生産性向上に向けた取り組みに対し助成する。  
補助先 畜産農家  
事業内容 自給飼料生産設備等の整備  
補助率 1/4、1/2
- (当初)「畜産総合対策推進指導事業費」(畜産課 10,889千円)  
内容: 畜産経営の安定を図るため、専門家による経営・生産技術の指導や情報提供を行う。
- (当初)「生乳需給調整等対策事業費」(畜産課 427千円)  
内容: 酪農経営の安定を図るため、良質で安全な生乳の生産推進や需給調整を行う。
- (当初)「家畜衛生技術指導事業費」(畜産課 1,530千円)  
内容: 家畜衛生技術の普及、飼養衛生管理基準の遵守指導等を行う。
- (当初)「受精卵供給促進事業費」(畜産課 10,909千円)  
内容: 高品質牛の生産を促進するため、受精卵移植技術を活用し、牛の受精卵を農家に提供する。

- (当初)「**乳用牛改良推進事業費**」(畜産課 20,253千円)  
 内容:乳用牛の能力の向上を図るため、雌牛の改良や牛群検定を実施する。
  - ・「優良乳用供卵牛選抜事業費」(19,051千円)
  - ・「乳用牛群検定普及定着化事業委託料」(256千円)  
 委託先 県酪農業協同組合
  - ・「乳用牛検定普及推進事業費補助金」(946千円)  
 補助先 県乳用牛群検定組合  
 補助率 422/1000、10/10(県単)
- (当初)「**肉用牛改良推進事業費**」(畜産課 819千円)  
 内容:県産肉用牛の改良増殖を推進するため、遺伝的データに基づく和牛の効率的な生産を推進する。
  - ・「高品質和牛倍増プラン推進事業委託料」(469千円)  
 委託先 県家畜改良協会
  - ・「高品質和牛倍増プラン推進事務費」(350千円)
- (当初)「**県立牧場管理費**」(畜産課 253,563千円)  
 内容:農家の乳用牛、肉用牛の周年預託管理並びに県有牛の優良子牛の生産と肉用牛農家への供給を行う。
  - ・「県立牧場管理業務委託料」(209,283千円)  
 内容:農家の乳用牛、肉用牛の周年預託管理等を行う県立八ヶ岳牧場の運営・管理を指定管理者に委託する。  
 委託先 (公財)県子牛育成協会
  - ・「県立牧場施設管理運営費」(44,280千円)  
 内容:施設修繕費、恩賜県有林借地料等
- (当初)「**豚の改良増殖費**」(畜産課 14,812千円)  
 内容:豚の品種の維持と増殖、「豚フジザクラ(ランドレース種)」の開放型育種による改良を行う。
  - ・「品種維持・増殖費等」(3,768千円)
  - ・「フジザクラ開放型育種改良事業費」(11,044千円)  
 内容:優良種豚の安定的な供給を図るため、本県が開発した種豚の品種改良を行う。
- (当初)「**新銘柄豚生産拡大促進事業費**」(畜産課 28,393千円)  
 内容:アイオワ州等から導入した基礎豚をもとに開発した甲州富士桜ポークの生産に必要な種豚の維持、農家への供給を行う。
- (当初)「**鶏の改良増殖費**」(畜産課 12,303千円)  
 内容:甲州地どり等銘柄鶏の普及を推進するため、種鶏の維持と増殖を行う。
- (当初)「**フェスタまきば開催費補助金**」(畜産課 1,214千円)  
 内容:県立まきば公園で開催されるフェスタまきばの運営に対し助成する。  
 補助先 フェスタまきば実行委員会  
 補助率 定額(県単)
- (当初)「**肉用子牛価格安定対策事業費**」(畜産課 892千円)  
 内容:肉用子牛の価格が保証基準価格を下回った場合に、生産者積立金から生産者補給金を交付する。
- (当初)「**畜産経営体質強化事業費**」(畜産課 670千円)  
 内容:畜産経営の改善を図るため、長期低利資金の利子補給と経営指導体制の整備を行う。

- (当初)「普及活動費」(農業技術課 118,665千円のうちの一部)P2再掲

## ② 低コスト化・高付加価値化に向けた技術の開発・普及

- (12補)臨「豚肉品質向上事業費」(畜産課 5,044千円)  
内容：甲州富士桜ポークの生産性や品質の向上を図るため、新たな肥育技術の実証を行う。
- (当初)「アニマルウェルフェアに配慮した肥育豚の飼養管理技術の開発試験費」  
(畜産課 666千円)  
内容：アニマルウェルフェアに対応した飼養管理が生産性等に与える影響を調査するとともに、生産者に対しアニマルウェルフェアへの理解の促進を図る。
- (当初)「肥育豚における飼料費削減のための精密栄養管理技術の開発試験費」  
(畜産課 2,048千円)  
内容：栄養成分を調整した自給濃厚飼料または有機酸等を給与することで、飼料費を削減するための技術開発を行う。
- (当初)「委託試験費」(畜産課 7,904千円のうちの一部)  
・「採卵鶏における快適性に配慮した飼育方法の生産性評価試験」(3,000千円)
- (当初)「経腔採卵を活用した高品質な牛体外受精卵生産技術の開発試験費」  
(畜産課 2,244千円)  
内容：経腔採卵を活用した高品質な牛体外受精卵生産技術を開発する。
- (当初)「飼料関係対策事業費」(畜産課 3,397千円)  
内容：飼料自給率の向上及び飼料の安全性の確保を推進するため、自給飼料の生産技術の開発、普及を行うとともに、飼料の検査や適正な使用の指導等を行う。
- (当初)「普及活動費」(農業技術課 118,665千円のうちの一部)P2再掲
- (当初)「畜産総合対策推進指導事業費」(畜産課 10,889千円)P7再掲
- (当初)「生乳需給調整等対策事業費」(畜産課 427千円)P7再掲
- (当初)「家畜衛生技術指導事業費」(畜産課 1,530千円)P7再掲

## ③ 畜産ヘルパー組織の強化による畜産農家への支援

- (当初)「畜産総合対策推進指導事業費」(畜産課 10,889千円)P7再掲
- (当初)「普及活動費」(農業技術課 118,665千円のうちの一部)P2再掲

## カ 水産

### ① ブランド魚の養殖技術の確立・普及

- (当初)臨「富士の介生産拡大事業費補助金」(食糧花き水産課 17,500千円)  
内容：県が開発した「富士の介」の生産拡大を図るため、養殖池の整備に対し助成する。  
補助先 水産養殖業者  
補助率 1/2

- (当初)「試験指導費」(食糧花き水産課 11,494千円のうち一部)
  - ・「水産に関する調査、試験、研究及び増養殖に関する漁協・養殖業者への指導費」(7,994千円)
- (当初)「魚苗生産事業費」(食糧花き水産課 59,414千円)
  - 内容：県内の養殖業者及び漁業協同組合に養殖用・放流用魚苗を供給し、内水面漁業の振興を図る。
- (当初)「普及活動費」(農業技術課 118,665千円のうちの一部) P2再掲

## ② 内水面漁業者の経営安定に向けた支援

- (当初)「内水面利用啓発事業費補助金」(食糧花き水産課 300千円)
  - 内容：県内漁場の利用者に対し、水産生物資源の保全、適正な利用、環境保全等に関する普及啓発を図る。
    - 補助先 県漁業協同組合連合会
    - 補助率 1/4(県単)(別に全国内水面漁業協同組合連合会から2/4)
- (当初)「試験指導費」(食糧花き水産課 11,494千円のうち一部)
  - ・「効果的な外来魚等抑制管理技術開発事業費」(2,000千円)
  - ・「ワカサギ資源管理技術の開発試験費」(1,500千円)
  - ・「水産に関する調査、試験、研究及び増養殖に関する漁協・養殖業者への指導費」(7,994千円) P10再掲
- (当初)「普及活動費」(農業技術課 118,665千円のうちの一部) P2再掲
- (12補)「施設園芸等経営強化支援事業費補助金」
  - (果樹・6次産業振興課 105,000千円) P4再掲
- (当初)「魚苗生産事業費」(食糧花き水産課 59,414千円) P10再掲

## キ 地域特産物

### ① 茶の高品質・安定生産技術の普及

- (当初)「茶産地育成推進事業費補助金」(食糧花き水産課 487千円)
  - 内容：県産茶の品質向上を図り、販路を拡大する。
    - 補助先 県茶振興協議会
    - 補助率 1/2(県単)
- (当初)「未来へつなぐ茶産地イノベーション支援事業費」(食糧花き水産課 2,062千円)
  - 内容：峡南地域の茶の維持・発展を図るため、生産力強化や高付加価値化に向けた取り組みを行う。
    - ・「老朽茶園更新処理促進事業費補助金」(1,000千円)
      - 補助先 市町村
      - 補助内容 樹勢を回復させる台切りに要する費用
      - 補助率 定額(国1/2、県1/2)
    - ・「茶園集積支援事業費補助金」(100千円)
      - 補助先 市町村
      - 補助内容 集積後に必要な土壌改良に要する費用
      - 補助率 1/2(県単)

・「生産技術開発・実証試験費」（962千円）

●(当初)「茶の有機栽培実証事業費」（食糧花き水産課 673千円）  
内容：県産茶の新たな販路を開拓するため、有機栽培の普及に向けた現地実証等を行う。

●(当初)「普及活動費」（農業技術課 118,665千円のうちの一部）P2再掲

## ② 新たな特産品目の生産拡大に向けた支援

●(当初)「普及活動費」（農業技術課 118,665千円のうちの一部）

●(当初)新「やまなし野菜」産地強化事業費補助金」（果樹・6次産業振興課1,500千円）  
P5再掲

●(当初)「薬用植物モデル経営体育成支援事業費補助金」（食糧花き水産課 400千円）  
内容：薬用植物の産地化を図り、県の新たな特産品とするため、栽培に取り組んでいる経営体  
に対し、出荷までに係る経費や更なる生産拡大に係る経費の一部を助成する。

補助先 農業法人、農業者組織等

補助率 1/2（県単）

P2再掲

## (2) 先進的技術の導入による生産性の向上

### ① データ農業による生産性の向上に向けた技術の開発・普及

●(当初)新「データ農業技術確立・普及事業費」（農業技術課 13,918千円）  
内容：県内農家の収益力向上につなげるため、篤農家の高度な栽培技術を可視化し、高品質な  
農産物を安定的に生産できる技術の開発、普及を行う。

事業内容 篤農家(露地モモ・スモモ)の栽培環境のデータ集積、解析等

●(当初)「データを活用した「シャインマスカット」の多収・高品質安定生産技術の確立試験費」  
(農業技術課 2,000千円)

内容：ICT 機器を活用して栽培環境条件や樹体生育をセンシングし、加温栽培における安定生  
産技術、露地栽培においては、高品質を維持した多収技術を確立する。

●(当初)「データセンシングを活用したキュウリ養液栽培における増収技術の確立試験費」  
(農業技術課 2,063千円)

内容：ICT 機器を用いた施設内環境のセンシング等により、キュウリの溶液栽培における栽培  
環境条件を明らかにし、高度環境制御を行うことで飛躍的に収量を増加させる技術を確  
立する。

●(当初)「普及活動費」（農業技術課 118,665千円のうちの一部）P2再掲

### ② 地域の特性に応じたスマート農業技術の普及促進

●(当初)「やまなしスマート農業実装事業費補助金」（農業技術課 3,000千円）  
内容：省力化・低コスト化・高品質化による生産性の向上を図るため、意欲ある農業者等が生  
産現場で行う先進技術の実証に対し助成する。

補助先 農業者等

補助率 1/2（県単）

●(当初)「やまなし未来創造農業推進事業費補助金」（農村振興課 40,000千円）P3再掲



- (当初)「普及活動費」(農業技術課 118,665千円のうちの一部)P2再掲

### (3)農畜水産物等の高付加価値化の推進

#### ① 4パーミル・イニシアチブの取り組みの拡大

- (当初)「果樹や野菜におけるバイオ炭を用いた土壌炭素貯留効果の検証試験費」  
(農業技術課 1,500千円)  
内容:バイオ炭の材料を、モモやブドウ以外の果樹や野菜にも拡大し、バイオ炭の土壌施用による土壌の炭素貯留量を数値化するとともに、CO<sub>2</sub>排出量削減効果を明らかにする。
- (当初)「環境にやさしい農業推進事業費」(農業技術課 10,666千円)  
内容:環境への負荷低減や生物多様性の保全を図るため「環境保全型農業」、「有機農業」、「4パーミル・イニシアチブ」を定着させる取り組みを推進する。
- (当初)「環境保全型農業直接支払補助金」(農業技術課 19,722千円)  
内容:化学肥料・化学合成農薬の低減を推進するため、農業者等が行う取り組みを支援する。  
補助先 市町村  
補助率 3/4(国2/4、県1/4)
- (当初)新「エシカル農畜産物等消費促進事業費」(販売・輸出支援課 12,073千円)  
内容:4パーミル・イニシアチブ、アニマルウェルフェア、ジビエをはじめとするエシカル農畜産物等のブランド力向上と消費拡大に向けた取り組みを行う。
- (当初)「普及活動費」(農業技術課 118,665千円のうちの一部)P2再掲
- (当初)「やまなし未来創造農業推進事業費補助金」(農村振興課 40,000千円)P3再掲

#### ② アニマルウェルフェアの取り組みの拡大

- (当初)「アニマルウェルフェアブランド推進事業費」(畜産課 431千円)  
内容:県産畜産物の新たな付加価値を創出するため、本県独自のアニマルウェルフェア認証制度の情報発信や取得促進に向けた取り組みを行う。
- (当初)「アニマルウェルフェアに配慮した肥育豚の飼養管理技術の開発試験費」  
(畜産課 666千円)P9再掲
- (当初)「委託試験費」(畜産課 7,904千円のうちの一部)P9再掲  
・「採卵鶏における快適性に配慮した飼育方法の生産性評価試験」(3,000千円)
- (当初)「普及活動費」(農業技術課 118,665千円のうちの一部)P2再掲
- (当初)新「エシカル農畜産物等消費促進事業費」  
(販売・輸出支援課 12,073千円)P12再掲

#### ③ やまなしジビエ認証制度の推進

- (当初)「ジビエ供給力向上事業費」(畜産課 270千円)  
内容:捕獲したニホンジカのジビエへの利活用を推進し、供給力を強化するための取り組みを行う。
- (当初)新「エシカル農畜産物等消費促進事業費」  
(販売・輸出支援課 12,073千円)P12再掲

- (当初)「やまなし未来創造農業推進事業費補助金」(農村振興課 40,000千円) P3再掲

#### (4)安全・安心で持続可能な農業の推進

##### ① 環境負荷低減に向けた取組の推進

- (当初)「病害虫総合制御技術推進特別対策事業費」(農業技術課 38,998千円)  
内容:生物的、物理的、化学的防除手段の組み合わせにより、環境に配慮した総合的病害虫防除体系を確立し、県内における環境保全型栽培の推進を図る。
- (当初)「ブドウとモモの新しい窒素施肥基準の作成試験費」(農業技術課 2,097千円)  
内容:ブドウとモモの安定生産や環境に配慮した窒素施肥に向けて、ブドウは、可給態窒素を考慮した新しい施肥基準を作成する。モモは、可給態窒素の適正範囲である診断基準を作成する。
- (当初)「野菜栽培ほ場における温室効果ガス亜酸化窒素発生抑制技術の確立試験費」  
(農業技術課 2,000千円)  
内容:県産野菜の主要品目であるスイートコーン及びナス栽培における発生実態を調査するとともに、発生要因を明らかにし、対策技術を確立する。
- (当初)新「省耕起栽培による環境再生型有機農業の実証」(農業技術課 2,100千円)  
内容:省耕起による有機農家の実態調査を行い、作業の省力性や土壌の理化学性(炭素や窒素量)、土壌微生物や土着生物等を評価する。また、場内で省耕起による有機栽培の実証試験を行い同様に炭素、窒素量や土壌微生物などを調査する。
- (当初)「農業用廃プラスチック処理対策費負担金」  
(果樹・6次産業振興課 1,448千円)  
内容:環境公害を防止するため、農業用廃プラスチックを適正に処理する。
- (当初)「普及活動費」(農業技術課 118,665千円のうちの一部) P2再掲
- (当初)「環境にやさしい農業推進事業費」(農業技術課 10,666千円) P12再掲
- (当初)「環境保全型農業直接支払補助金」(農業技術課 19,722千円) P12再掲
- (当初)新「有機栽培技術確立事業費」(果樹・6次産業振興課 4,174千円) P5再掲
- (当初)新「普及啓発事業費」(果樹・6次産業振興課 918千円) P5再掲
- (当初)「やまなし未来創造農業推進事業費補助金」(農村振興課 40,000千円) P3再掲

##### ② 肥料・飼料等の高騰対策の推進

- (12補)「省エネ・再エネ設備導入加速化事業費補助金」  
(果樹・6次産業振興課 308,000千円)  
内容:原油価格等の高騰に直面する事業者のエネルギーコストの削減を推進するため、省エネルギー設備、再生可能エネルギー発電設備等の導入に対し助成する。  
補助先 農業者等  
補助率 2/3  
補助額 省エネ設備 1事業所当たり3,000千円上限(250千円下限)  
再エネ設備 1事業所当たり6,000千円上限  
(1,000千円下限、ただし太陽熱利用設備の場合250千円下限)

- (12補)「畜産経営基盤パワーアップ事業費補助金」(畜産課 62,000千円)P7再掲
  - (当初)新「下水汚泥等の肥料成分を活用した低コストで持続可能な施肥技術の開発試験費」  
(農業技術課 3,200千円)  
内容：下水汚泥等の窒素やリン酸など各種成分や重金属量を調べ、特性を把握するとともに、作物の栽培に対する肥効や連用効果を検証する。
  - (当初)「畜産環境総合対策事業費」(畜産課 464千円)  
内容：畜産経営に起因する環境問題を解消するため、地域社会と調和のとれた環境対策を推進する。
  - (当初)「中小家畜試験費」(畜産課 9,644千円)
    - ・「ブロイラーの飼料費低減と肉質向上を図る飼養管理技術の開発」(9,644千円)
  - (当初)「大家畜試験費」(畜産課 6,139千円のうちの一部)
    - ・「黒毛和種子牛における高栄養早期離乳プログラムの開発」(5,049千円)
  - (当初)「肥育豚における飼料費削減のための精密栄養管理技術の開発試験費」  
(畜産課 2,048千円)P9再掲
  - (当初)「飼料関係対策事業費」(畜産課 3,397千円)P9再掲
  - (当初)「野菜生産出荷安定対策費」(果樹・6次産業振興課 13,776千円)P5再掲
  - (当初)「畜産総合対策推進指導事業費」(畜産課 10,889千円)P7再掲
- ③ 異常気象に対応した農業の推進
- (当初)「野菜栽培ほ場における温室効果ガス亜酸化窒素発生抑制技術の確立試験費」  
(農業技術課 2,000千円)P13再掲
  - (当初)「果樹や野菜におけるバイオ炭を用いた土壌炭素貯留効果の検証試験費」  
(農業技術課 1,500千円)P12再掲
  - (当初)「ブドウとモモの新しい窒素施肥基準の作成試験費」  
(農業技術課 2,097千円)P13再掲
  - (当初)「委託試験費」(畜産課 7,904千円のうちの一部)
    - ・「生産性を維持しながら温室効果ガス排出削減を可能とする養鶏飼料」  
(3,654千円)
    - ・「採卵鶏における気候変動の影響予測」(1,250千円)
  - (当初)「組合等指導費」(農政総務課 1,006千円)  
内容：農業保険制度の適正かつ円滑な事業運営を図るため、調査の実施及び農業共済団体に対する指導を行う。
  - (当初)「普及活動費」(農業技術課 118,665千円のうちの一部)P2再掲
  - (当初)「やまなし未来創造農業推進事業費補助金」(農村振興課 40,000千円)P3再掲

#### ④ 家畜等の疾病対策と防疫体制の強化

- (当初)「家畜病性鑑定事業費」(畜産課 20,051千円)
  - ・「不明疾病の解明事業費」(3,661千円)
  - ・「死亡牛BSE全頭検査事業費」(7,442千円)
  - ・「家畜病性鑑定推進費等」(8,948千円)
  
- (当初)「家畜伝染病予防費」(畜産課 29,167千円)
  - ・「監視伝染病等検査事業費」(7,051千円)
  - ・「高病原性鳥インフルエンザ等監視体制強化対策事業費」(3,597千円)
  - ・「家畜衛生対策推進費」(135千円)
  - ・「豚熱防疫対策事業費」(18,384千円)
  
- (当初)「自衛防疫強化総合対策事業費」(畜産課 1,319千円)

内容：農家段階での疾病発生を未然に防ぐため、ワクチン接種を推進する。

  - ・「特定疾病損耗防止推進対策事業費」(299千円)
  - ・「自衛防疫強化総合対策事業費補助金」(1,020千円)
    - 事業主体 (公社) 県畜産協会
    - 事業内容 牛流行性感冒等のワクチン接種
    - 補助率 定額、1/3(県単)
  
- (当初)「家畜衛生技術指導事業費」(畜産課 1,530千円) P7再掲

#### ⑤ 安全・安心な農畜産物の生産拡大に向けた支援

- (当初)「防疫推進事業費」(農業技術課 2,676千円)

内容：植物防疫事業の総合的な推進と農薬の適正使用の啓発を行う。
  
- (当初)「農薬飛散防止対策等事業費」(農業技術課 8,088千円)

内容：農薬のポジティブリスト制度に対応した飛散防止指導等を実施する。

  - ・「安全・安心ブランド農産物推進事業費補助金」(7,464千円)

内容：農産物の安全を確保するため、農薬残留基準を超過した農作物の流通防止に係る取り組みに対し助成する。

    - 補助先 農協等
    - 事業内容 残留農薬分析等
    - 補助率 1/2
  - ・「マイナー作物等農薬登録促進事業費」(624千円)

内容：マイナー作物(全国ベースの生産量3万トン以下)の農薬登録促進
  
- (当初)「病虫害発生予察事業費」(農業技術課 1,898千円)

内容：病虫害による被害を最小限度に抑えるため、発生状況の調査と発生予察情報の提供を行う。
  
- (当初)「農作業安全対策強化事業費」(農業技術課 694千円)

内容：農作業事故の未然防止を強化するため、農業者に対し効果的な啓発を行う。
- (当初)「GAP推進事業費」(農業技術課 2,353千円)

内容：安全・安心な農産物を生産し、産地競争力の強化を図るため、GAPの普及に向けた取り組みを行う。

  - ・「やまなしGAP等推進事業費」(1,816千円)
    - 事業内容 推進会議、認証審査会の設置、フォーラムの開催等

- ・「国際水準 GAP 認証取得支援推進費」(537千円)  
事業内容 農業教育機関の認証取得審査受審等

- (当初)「地域食品産業活性化総合推進事業費」(果樹・6次産業振興課 186千円)  
内容：県産農畜産物を主な原材料として優れた加工食品を認証することにより、食品産業の振興を図る。
- (当初)「食肉等流通合理化推進事業費」(畜産課 2,445千円)  
内容：合理的かつ安全な食肉の流通を図るため、円滑な業務推進と畜産業振興事業の普及を行う。
- (当初)「普及活動費」(農業技術課 118,665千円のうちの一部) P2再掲
- (当初)「畜産総合対策推進指導事業費」(畜産課 10,889千円) P7再掲
- (当初)「家畜衛生技術指導事業費」(畜産課 1,530千円) P7再掲
- (当初)「飼料関係対策事業費」(畜産課 3,397千円) P9再掲

## ⑥ 普及指導体制の更なる強化

- (当初)「普及活動費」(農業技術課 118,665千円のうちの一部) P2再掲
- (当初)「畜産総合対策推進指導事業費」(畜産課 10,889千円) P7再掲
- (当初)「畜産経営体質強化事業費」(畜産課 670千円) P9再掲

## (5) 品質管理の徹底と効率的な流通体制の構築

### ① 農畜水産物の出荷体制の整備

- (12補)「やまなし産地生産基盤パワーアップ事業費補助金」  
(果樹・6次産業振興課 284,885千円) P3再掲
- (当初)「食肉等流通合理化推進事業費」(畜産課 2,445千円) P16再掲
- (当初)「やまなし未来創造農業推進事業費補助金」(農村振興課 40,000千円) P3再掲
- (当初)臨「富士の介生産拡大事業費補助金」(食糧花き水産課 17,500千円) P10再掲

### ② 果実の品質管理を徹底した出荷・輸送体制の構築

- (12補)「やまなし産地生産基盤パワーアップ事業費補助金」  
(果樹・6次産業振興課 284,885千円) P3再掲
- (当初)「農畜水産物戦略的輸出拡大事業費」(販売・輸出支援課 43,685千円)  
内容：更なる輸出を促進するため、積極的・効果的なプロモーション活動等を実施する。

### ③ 食肉の輸出拡大に向けた流通体制の整備

- (当初)新「食肉流通センター施設整備費補助金」(畜産課 4,785千円)  
内容：県産食肉の海外への販路拡大を図るため、高度な衛生管理基準に適合した食肉処理施設の整備に対し助成する。  
補助先 (株)山梨食肉流通センター

事業内容 基本計画の策定  
補助率 1/2 (県単)

- (当初)「食肉等流通合理化推進事業費」(畜産課 2,445千円) P16 再掲

#### ④ ふるさと納税返礼品のクオリティの確保

- (当初)「コーポレートブランド「やまなし」推進事業費」  
(地域ブランド推進グループ 92,650千円のうちの一部)  
内容：地域経済の活性化を図るため、本県のブランド価値向上に向けた取り組みを行う。
- (当初)「普及活動費」(農業技術課 118,665千円のうちの一部) P2再掲

### (6) 販路拡大と6次産業化の推進

#### ① 農畜水産物等の販路拡大

- (当初)新「やまなし農畜水産物等マッチング推進事業費」  
(販売・輸出支援課 1,000千円)  
内容：県産農畜水産物等の販路拡大を図るため、生産者と飲食店のマッチングを支援する。
- (当初)「富士の介販路拡大プロモーション事業費」(販売・輸出支援課 4,757千円)  
内容：本県ブランド魚「富士の介」のブランド力向上と消費拡大に向けた取り組みを行う。
  - ・「販路拡大プロモーション事業費」(1,757千円)  
事業内容 国際見本市への出展
  - ・「ブランド力向上事業費補助金」(3,000千円)  
補助先 生産者、流通販売事業者  
事業内容 販路開拓のためのプロモーション  
補助率 2/4 (国 1/4、県 1/4)
- (当初)「やまなしの花総合振興対策費」(販売・輸出支援課 2,551千円)  
内容：県産花きの需要拡大を図るため、販路開拓の取り組みを行う。

#### ② 農業の6次産業化の推進

- (当初)「6次産業化ネットワーク活動支援事業費」  
(果樹・6次産業振興課 11,221千円)  
内容：農業者の所得向上と農村地域の活性化などを行うため、支援体制を整備するとともに、多様な事業者によるネットワークの構築に向けた取り組みを推進する。
- (当初)「中山間地農業活性化推進事業費補助金」(農村振興課 29,000千円)  
内容：中山間地農業の活性化を図るため、市町村が行う将来ビジョンの実現に向けた取り組みに対し助成する。  
補助先 市町村  
内容 研修会の開催等  
補助率 10/10

#### ③ 規格外農産物を活用した新商品の開発支援

- (当初)「6次産業化ネットワーク活動支援事業費」  
(果樹・6次産業振興課 11,221千円) P17 再掲
- (当初)「中山間地農業活性化推進事業費補助金」

(農村振興課 29,000千円) P17 再掲

④ 地域の販売集客拠点での販売対策等への支援

●(当初)「普及活動費」(農業技術課 118,665千円のうちの一部) P2再掲

●(当初)「販売促進活動等支援事業費補助金」

(販売・輸出支援課 14,000千円)

内容：県産農産物の販売強化と「やまなしブランド」の認知度向上を図るため、市場や小売店等での販売促進活動及びPR活動を実施する。

補助先 県農畜産物販売強化対策協議会  
補助率 1/2(県単)

●(当初)「やまなしの花産地生産力強化事業費補助金」(食糧花き水産課 250千円)

P7 再掲

●(当初)「フェスタまきば開催費補助金」(畜産課 1,214千円) P8再掲

●(当初)「中山間地農業活性化推進事業費補助金」

(農村振興課 29,000千円) P17 再掲

⑤ 農産物直売所等の施設整備への支援

●(当初)「山村振興等農林漁業対策事業費」(耕地課 5,993千円)

内容：山村地域等の活性化と定住の促進を図るために必要な事業を実施する。

●(当初)「やまなし未来創造農業推進事業費補助金」(農村振興課 40,000千円) P3 再掲

⑥ 学校給食における地産地消の促進

●(当初)「普及活動費」(農業技術課 118,665千円のうちの一部) P2再掲

(7)輸出の更なる拡大

① 新たな輸出先国の開拓

●(当初)「農畜水産物戦略的輸出拡大事業費」

(販売・輸出支援課 43,685千円) P16 再掲

② 輸出促進に向けた新たな体制づくり

●(当初)「農畜水産物戦略的輸出拡大事業費」

(販売・輸出支援課 43,685千円) P16 再掲

●(当初)新「食肉流通センター施設整備費補助金」(畜産課 4,785千円) P17 再掲

## 2 戦略的ブランドプロモーションの展開

### (1) 効果的なプロモーションの推進

#### ① アジア地域を中心としたプロモーション活動の実施

- (当初)「農産物輸出拡大サポート事業費補助金」 販売・輸出支援課 4,918千円  
内容：香港、台湾等に加え、新規輸出解禁国でのプロモーション活動に対し助成する。  
補助先 県果実輸出促進協議会  
補助率 10/10 (国 5/10、県 5/10)  
2/4 (国 1/4、県 1/4)

- (当初)「農畜水産物戦略的輸出拡大事業費」  
(販売・輸出支援課 43,685千円) P16 再掲

#### ② 国内へのプロモーション活動の実施

- (当初)「ブランド強化プロモーション事業費」 (販売・輸出支援課 9,580千円)  
内容：県産農畜水産物の消費拡大及び生産者の所得向上を図るため、「おいしい未来へ やまなし」の効果的なブランドプロモーションを行う。  
事業内容 Web 雑誌等への記事掲載、専用サイトのコンテンツ制作等

- (当初)「販売促進活動等支援事業費補助金」  
(販売・輸出支援課 14,000千円) P18 再掲

- (当初)「農産物流通販売強化対策事業費補助金」 (販売・輸出支援課 4,931千円)  
内容：市場・流通、輸出に関する情報収集等を行う農産物インフォメーションセンター・輸出促進センターの運営に対し助成する。  
補助先 県農畜産物販売強化対策協議会  
補助率 1/2 (県単)

- (当初)臨「第26回米・食味分析鑑定コンクール国際大会開催費補助金」  
(食糧花き水産課 3,000千円)  
内容：県産米の魅力発信や品質向上を図るため、令和6年12月の国際大会の開催に対し助成する。  
補助先 米・食味分析鑑定コンクール国際大会 in 北杜実行委員会

- (当初)「富士の介販路拡大プロモーション事業費」  
(販売・輸出支援課 4,757千円) P17 再掲

- (当初)新「エシカル農畜産物等消費促進事業費」  
(販売・輸出支援課 12,073千円) P12 再掲

- (当初)「やまなしの花総合振興対策費」 (販売・輸出支援課 2,551千円) P17 再掲

### (2) 「やまなし」ブランドの確立

#### ① 県産農畜水産物等のブランド力強化の推進

- (当初)「ブランド強化プロモーション事業費」  
(販売・輸出支援課 9,580千円) P19 再掲



- (当初)「販売促進活動等支援事業費補助金」  
(販売・輸出支援課 14,000千円) P18 再掲
- (当初)「農産物流通販売強化対策事業費補助金」  
(販売・輸出支援課 4,931千円) P19 再掲
- (当初)「やまなしの花総合振興対策費」 (販売・輸出支援課 2,551千円) P17 再掲
- (当初)「中山間地農業活性化推進事業費補助金」  
(農村振興課 29,000千円) P17 再掲
- (当初)新「エシカル農畜産物等消費促進事業費」  
(販売・輸出支援課 12,073千円) P12 再掲
- (当初)「コーポレートブランド「やまなし」推進事業費」  
(地域ブランド推進グループ 92,650千円のうち一部) P17 再掲

## ② 美酒・美食を通じたブランド力強化の推進

- (当初)新「やまなし農畜水産物等マッチング推進事業費」  
(販売・輸出支援課 1,000千円) P17 再掲
- (当初)新「エシカル農畜産物等消費促進事業費」  
(販売・輸出支援課 12,073千円) P12 再掲
- (当初)「富士の介販路拡大プロモーション事業費」  
(販売・輸出支援課 4,757千円) P17 再掲
- (当初)臨「富士の介生産拡大事業費補助金」  
(食糧花き水産課 17,500千円) P9 再掲
- (当初)「シビエ供給力向上事業費」 (畜産課 270千円) P13 再掲
- (当初)「グルマン・エコノミー推進事業費」 (観光振興課 22,620千円)  
内容：生産者と飲食店等の連携強化による食の高付加価値化を図る取り組みを行う。

### 3 明日の農業・農村を担う人財づくり

#### (1) 新規就農者の確保・定着

##### ① 就農支援サポート体制強化の実施

- (当初)「やまなし就農ライフサポート事業費」(担い手・農地対策課 11,556千円)  
内容:新規就農を促進するため、就農に関心がある者が生産現場の理解を深める取り組みを行う。  
事業内容 農業総合情報サイトへの特集ページの掲載、座談会、見学ツアーの開催、農業体験の実施
- (当初)「就農支援対策事業費」(担い手・農地対策課 12,069千円)  
内容:意欲ある新規就農者を確保するため、就農支援センターを設置し、就農支援マネージャーによる就農相談活動を実施するなど、就農支援体制の整備を図る。
- (当初)「農林大学校費」(農業技術課 76,701千円)  
内容:農林大学校において農業後継者の教育や新規参入希望者への研修を行う。
- (当初)「企業的農業展開支援対策事業費」(担い手・農地対策課 5,390千円)  
内容:効率的な農業経営が可能となる経営体を育成するため、企業の農業参入等を促進する。
  - ・「企業的農業推進事業費」(852千円)  
事業内容 企業訪問やセミナーの開催等
  - ・「農業経営継承支援事業費」(4,538千円)  
事業内容 セミナーの開催、法人設立費用の助成、専門家の派遣等
- (当初)「シニア世代就農促進事業費補助金」(担い手・農地対策課 2,811千円)  
内容:新規就農者を確保するため、シニア世代を対象とした農業技術研修等の取り組みに対し助成する。  
補助先 (公財) 県農業振興公社  
補助率 10/10 (県単)
- (当初)「普及活動費」(農業技術課 118,665千円のうちの一部) P2再掲

##### ② 就農定着に向けた支援の充実

- (当初)「新規就農者育成総合対策事業費」(担い手・農地対策課 379,027千円)  
内容:新規就農者の育成と定着を図るため、就農準備や経営開始後の早期の経営確立を支援する。
  - ・「就農準備資金交付事業費」(54,625千円)  
対象者 就農前研修者(就農時50歳未満の者等)  
交付額 1人当たり年間150万円
  - ・「経営開始資金交付事業費」(183,225千円)  
交付先 市町村  
対象者 認定新規就農者(就農時50歳未満の独立・自営就農者等)  
交付額 1人当たり年間150万円
  - ・「経営発展支援事業費補助金」(135,000千円)  
対象者 認定新規就農者(就農時50歳未満の独立・自営就農者等)  
補助対象 機械・施設の導入、果樹改植、機械リース等  
補助率 3/4 (国2/4、県1/4)

- **新**「サポート体制構築事業費補助金」(2,500千円)  
補助先 農協等  
補助対象 研修農場の整備  
補助率 1/2
- 「推進事業費」 (3,677千円)  
事業内容 研修会の開催等

- (当初)「やまなしあぐりゼミナール事業費補助金」(担い手・農地対策課 14,387千円)  
内容：新規就農者を確保するため、就農に必要な基礎的な技術や知識が不足する者を対象とした研修事業に対し助成する。  
補助先 (公財) 県農業振興公社  
補助率 10/10 (国 5/10、県 5/10)

- (当初) **新**「やまなし新規就農アシスト事業費補助金」  
(担い手・農地対策課 10,000千円)  
内容：新たな担い手を確保するため、新規就農者等が行う機械・施設の整備に対し助成する。  
補助先 市町村  
事業内容 農業用機械・施設のリース  
補助率 2/9 (県単)

- (当初) **新**「親元就農促進支援事業費補助金」(担い手・農地対策課 18,000千円)  
内容：親元就農者の確保・育成及び定着を促進するため、新規親元就農者が行う経営面積等の規模拡大の取り組みに対し助成する。  
補助先 市町村  
要件 就農時 50 歳未満、前年度所得 600 万円以下 (本人及び配偶者の合計) 等の全ての要件を満たす者  
補助基本額 5%以上規模拡大する場合 1 人あたり 50 万円  
10%以上規模拡大する場合 1 人あたり 100 万円  
補助率 1/2 (県単)

- (当初)「普及活動費」(農業技術課 118,665千円のうちの一部) P2再掲

- (当初)「農林大学校費」(農業技術課 76,701千円) P21 再掲

### ③ 就農希望者の増加に向けた普及啓発の推進

- (当初)「就農トレーニング塾設置事業費」(農業技術課 3,647千円)  
内容：本県に就農を希望する新規就農者に対し、実践的な農業体験ができる短期研修を行う。

- (当初)「高校生あぐり体験事業費」(農業技術課 280千円)  
内容：高校生が農林大学校での農業体験をすることによって、農業の魅力と農林大学校を理解し、農林大学校への進学と就農促進を図る。

- (当初)「やまなし食農菜園教育モデル実践事業費」(農政総務課 450千円)  
内容：本県の特徴ある農業への関心を醸成し、将来の担い手を育成するため、農業体験を通じて食と農への理解を深める「食農菜園教育」を推進する。

- (当初)「農林大学校費」(農業技術課 76,701千円) P21 再掲

- (当初)「やまなし就農ライフサポート事業費」  
(担い手・農地対策課 11,556千円) P21 再掲
- (当初)「やまなしリフレッシュ農泊推進事業費」(農村振興課 6,323千円)  
内容：農村地域の活性化と所得向上を図るため、農泊事業者が行う企業向けリフレッシュプログラムの開発を支援する。

## (2) 多様な担い手の育成

### ① 中核となる担い手の育成

- (当初)「農業用機械・施設整備事業費補助金」(担い手・農地対策課 4,800千円)  
内容：生産の効率化や経営の高度化を図るため、地域計画に位置づけられた経営体等が行う機械・施設の導入を支援する。  
補助先 市町村  
事業内容 農業用機械の購入、農業用施設の整備  
補助率 3/10
- (当初)「企業的農業展開支援対策事業費」(担い手・農地対策課 5,390千円) P21 再掲

### ② 地域を支える担い手の育成

- (当初)「農村女性活動推進支援事業費」(農業技術課 3,358千円)  
内容：農業・農村の活性化を図るため、地域農業の指導的役割を担う女性リーダーを育成する。
  - ・「地域における女性農業者活躍推進事業費」(1,997千円)  
内容：地域農業の中核となる女性農業者の育成等を推進する。
- (当初)「農村青少年組織育成事業費」(農業技術課 273千円)  
内容：県青年農業士及び県指導農業士を認定するとともに、認定後の自主的組織活動を支援する。
- (当初)「普及活動費」(農業技術課 118,665千円のうちの一部) P2再掲

### ③ 多様な労働力の確保と障害者の農業分野での就労促進

- (当初)「次世代型農福連携パワーアップ事業費」  
(障害福祉課 10,831千円)  
内容：障害者の経済自立を支援するため、障害者の農業分野への就労を促進する取り組みを行う。
  - ・「農福連携マッチング事業費」(8,079千円)  
内容：県農福連携推進センターを設置し、農業経営者と障害者就労施設等のマッチングを行う。
  - ・「農福連携商品ブランド化支援事業費」(752千円)  
内容：6次産業化アドバイザーの派遣等
  - ・「山梨県農福連携推進事業費補助金」(2,000千円)  
内容 農業に取り組もうとする障害者就労支援施設等に対する初期投資への支援  
補助先 社会福祉法人等  
補助率 定額(県単)

## 4 農村地域の保全と基盤整備

### (1) 担い手への農地の継承と集積・集約化の推進

#### ① 地域計画の策定による担い手への農地の継承と集積等の推進

- (当初)「人・農地将来ビジョン策定支援事業費」(担い手・農地対策課 32,997千円)  
内容:地域が目指すべき将来の農地利用の姿を明確化した地域計画の策定に向けた取り組みを支援する。
  - ・「策定支援事業費補助金」(23,150千円)  
補助先 市町村  
事業内容 地域計画の策定  
交付率 10/10
  - ・「推進事業費」(9,847千円)  
事業内容 市町村への助言・指導等
  
- (当初)「農業委員会指導費」(担い手・農地対策課 164,346千円)  
内容:市町村農業委員会や県農業委員会ネットワーク機構の運営や事業に対し助成する。
  - ・「農業委員会交付金」(57,657千円)  
市町村農業委員会の運営に要する経費に対し助成する。  
交付先 市町村  
交付率 定額
  - ・「農業委員会ネットワーク機構補助金」(25,247千円)  
県農業会議が県農業委員会ネットワーク機構として行う農地転用許可に係る事務や市町村農業委員の資質向上のための事務等に対し助成する。  
補助先 県農業委員会ネットワーク機構  
補助率 定額
  - ・「農地中間管理機構集積支援事業交付金(農業委員会)」(23,874千円)  
市町村農業委員会が行う農地の利用状況調査や荒廃農地所有者との相談活動等、農地集積に向けた活動に対し助成する。  
交付先 市町村  
交付率 定額
  - ・「農地中間管理機構集積支援事業交付金(農業委員会ネットワーク機構)」  
(8,379千円)  
市町村農業委員等への研修や農地相談員の配置等、市町村農業委員会を支援する活動に対し助成する。  
交付先 県農業委員会ネットワーク機構  
交付率 定額
  - ・「農地利用最適化交付金」(49,189千円)  
市町村農業委員等が行う新規参入者への農地のあっせんや遊休農地の所有者との相談活動等、農地利用の最適化に向けた活動に対し助成する。  
交付先 市町村  
交付率 定額
  
- (当初)「農地中間管理事業費」(担い手・農地対策課 106,389千円)  
内容:農業者等から農地を借り受け、地域の中心となる経営体等へ貸し付ける取り組みを推進する。
  - ・「農地中間管理機構運営事業費補助金」(97,355千円)  
補助先 県農地中間管理機構

事業内容 農地中間管理機構の運営等  
補助率 10/10 (国 6/10、7/10、県 4/10、3/10)

- ・「借受農地管理等事業費補助金」(6, 128千円)  
補助先 県農地中間管理機構  
事業内容 農地中間管理機構の保有する中間保有農地の管理等  
補助率 10/10 (国 7/10、県 3/10)
- ・「農地中間管理事務費等」(2, 906千円)

- (当初)「機構集積協力金交付事業費補助金」(担い手・農地対策課 17, 940千円)  
内容：中心経営体等への農地集積を図るため、機構へ農地を貸し付ける地域等に対して地域集積協力金等を支払う市町村に対し交付する。  
補助先 市町村  
補助率 定額

- (当初)「農地集積・集約化促進支援事業費」(耕地課 20, 000千円)  
内容：農地集積・集約化に向けた企画提案等。

## ② 荒廃農地の発生防止と再生・活用の推進

- (当初)新「やまなし担い手サポート農地整備事業費補助金」  
(担い手・農地対策課 115, 000千円)  
内容：地域計画に基づく農地の利用促進と円滑な農地の継承を図るため、市町村等が行う農地の整備等に対し助成する。  
補助先 市町村、土地改良区等  
事業内容 ほ場、農道等の基盤整備  
補助率 1/2、定額(県単)
- (当初)「農業委員会指導費」(担い手・農地対策課 164, 346千円) P24再掲
- (当初)「農地維持・資源向上活動支援事業費補助金」(農村振興課 305, 472千円)  
内容：農業、農村の多面的機能の発揮に向け、その機能を支える活動や農地、水路等の地域資源の質的向上を図る地域ぐるみの共同活動を支援する。  
補助先 市町村、推進組織  
補助率 3/4(国 2/4、県 1/4)、10/10
- (当初)「中山間地域等直接支払事業費」(農村振興課 407, 232千円)  
内容：中山間地域等における耕作放棄地の発生を防止し、農業・農村の持つ多面的機能を確保するため、直接支払いを実施する。
  - ・「中山間地域等直接支払交付金」(405, 000千円)  
内容：協定に基づき継続的に農業者等が行う農業生産活動等に対し交付する。  
交付先 市町村  
交付率 3/4(国 2/4、県 1/4)、2/3(国 1/3、県 1/3)
  - ・「中山間地域等直接支払推進交付金」(1, 624千円)  
内容：集落や農家に対する説明会の開催、書類確認事務、交付金支払事務等に対し交付する。  
交付先 市町村  
交付率 1/2

- (当初)「**県営事業計画調査費**」(耕地課 78,400千円)  
内容: 県営土地改良事業実施のための事業計画作成に必要な調査を行う。
  
- (12補・当初)「**中山間地域総合整備事業費**」  
(耕地課 12補:59,850千円 当初:1,168,037千円)  
内容: 中山間地域の農業・農村の活性化を図るため、農業生産基盤や農村生活環境基盤を総合的に整備する。  
対 象 10地区  
負担区分 国(55%)、県(30%)
  
- (当初)「**農地環境整備事業費**」(耕地課 178,080千円)  
内容: 耕作放棄地が介在する地域において、優良農地を保全するため、ほ場や農道、用排水路などを総合的に整備する。  
対 象 2地区  
負担区分 国(55%) 県(30%)
  
- (12補・当初)「**耕作放棄地解消・発生防止基盤整備事業費**」  
(耕地課 12補:253,572千円 当初:289,380千円)  
内容: 耕作放棄地の解消・発生防止を図るため、ほ場や農道、用排水路などを総合的に整備する。  
対 象 3地区  
負担区分 国(55%) 県(27.5%)
  
- (12補・当初)「**経営体育成基盤整備事業費**」  
(耕地課 12補:80,780千円 当初:1,020,091千円)  
内容: 多様な担い手への農地の集積を促進するため、ほ場や農道、用排水路などを総合的に整備する。  
対 象 7地区  
負担区分 国(50、55%) 県(27.5%)
  
- (当初)「**調査設計事業費**」(耕地課 104,500千円)  
内容: 市町村等が行う土地改良事業の実施に必要な調査設計に対して助成する。  
対 象 6地区
  
- (当初)「**農業集落排水事業費**」(耕地課 84,262千円)  
内容: 農業用水の水質の汚濁を防止し、農村地域の健全な水循環に資するための施設整備及び適正な維持管理の促進を図る。  
対 象 4地区
  
- (当初)「**基盤整備促進事業費**」(耕地課 89,030千円)  
内容: 市町村等が行うほ場や農道、用排水路のきめ細やかな農業生産基盤の整備に対し助成する。  
事業主体 市町村、土地改良区等  
対 象 11地区  
補助率 国(50、55%) 県(0.5、10%)
  
- (当初)「**企業的農業展開支援対策事業費**」(担い手・農地対策課 5,390千円) P21 再掲
  
- (当初)「**中山間地農業活性化推進事業費補助金**」  
(農村振興課 29,000千円) P17 再掲

## (2)産地の競争力強化に向けた基盤整備の推進

### ① 果樹産地等の競争力強化に向けた基盤整備の推進

- (当初)新「やまなし担い手サポート農地整備事業費補助金」  
(担い手・農地対策 115,000千円) P25 再掲
- (当初)「県営事業計画調査費」(耕地課 78,400千円) P26 再掲
- (12補・当初)「かんがい排水事業費」  
(耕地課 12補:80,320千円 当初:211,470千円)  
内容:基幹的農業水利施設等の長寿命化を図るため、保全計画に基づき補修、更新を行う。  
対 象 2地区  
負担区分 国(50%) 県(25%)
- (12補・当初)「畑地帯総合整備事業費」  
(耕地課 12補:1,636,520千円 当初:1,410,362千円)  
内容:樹園地等の畑地帯において生産性の向上を図るため、ほ場や農道、用排水路などを総合的に整備する。  
対 象 19地区  
負担区分 国(50、55%) 県(25%)
- (12補・当初)「中山間地域総合整備事業費」  
(耕地課 12補:59,850千円 当初:1,168,037千円) P26 再掲
- (当初)「地域用水環境整備事業費」(耕地課 89,040千円)  
内容:農村地域の恵まれた景観や生態系を保全するため、自然環境に配慮した水路、ため池などを整備する。  
対 象 1地区  
負担区分 国(50%) 県(25%)
- (当初)「農地環境整備事業費」(耕地課 178,080千円) P26 再掲
- (12補・当初)「耕作放棄地解消・発生防止基盤整備事業費」  
(耕地課 12補:253,572千円 当初:289,380千円) P26 再掲
- (12補・当初)「経営体育成基盤整備事業費」  
(耕地課 12補:80,780千円 当初:1,020,091千円) P26 再掲
- (当初)「調査設計事業費」(耕地課 104,500千円) P26 再掲
- (当初)「農業集落排水事業費」(耕地課 84,262千円) P26 再掲
- (当初)「基盤整備促進事業費」(耕地課 89,030千円) P26 再掲
- (当初)「果樹団地化促進支援事業費補助金」(耕地課 10,000千円) P3再掲
- (当初)「県単土地改良事業費」(耕地課 60,000千円)  
内容:県営土地改良施設の応急的な改修や補修等を行う。
- (当初)「広域営農団地農道整備事業費」(耕地課 当初:356,160千円)



内容：農地と集落、集出荷施設を有機的に結びつけることで効率的な農業経営の展開を図るため、地域の農道網の核となる農道を整備する。

実施地区数 1地区

負担区分 国（55.5%） 県（34.5%）

●(当初)「農村地域活性化農道整備事業費」（耕地課 262,582千円）

内容：農村地域におけるアクセス向上を図るため、集落や拠点施設を結ぶ農道を整備する。

実施地区数 5地区

負担区分 県（70%等）

●(当初)「農地集積基盤整備事業費補助金」（耕地課 50,000千円）

内容：農用地の利用集積を促進するため、集積を行う基盤整備事業の農家負担に対し助成する。

事業主体 市町村等

補助率 定額（県単）

② 担い手への農地の集積・集約化に資する基盤整備の推進

●(当初)「やまなし担い手サポート農地整備事業費補助金」

（担い手・農地対策課 当初：115,000千円）P27再掲

●(当初)「県営事業計画調査費」（耕地課 78,400千円）P26再掲

●(12補・当初)「畑地帯総合整備事業費」

（耕地課 12補：1,636,520千円 当初：1,410,362千円）P27再掲

●(12補・当初)「中山間地域総合整備事業費」

（耕地課 12補：59,850千円 当初：1,168,037千円）P26再掲

●(当初)「農地環境整備事業費」（耕地課 178,080千円）P26再掲

●(12補・当初)「耕作放棄地解消・発生防止基盤整備事業費」

（耕地課 12補：253,572千円 当初：289,380千円）P27再掲

●(12補・当初)「経営体育成基盤整備事業費」

（耕地課 12補：80,780千円 当初：1,020,091千円）P27再掲

●(当初)「調査設計事業費」（耕地課 104,500千円）P26再掲

●(当初)「農業集落排水事業費」（耕地課 84,262千円）P26再掲

●(当初)「基盤整備促進事業費」（耕地課 89,030千円）P26再掲

●(当初)「県単土地改良事業費」（耕地課 60,000千円）P27再掲

●(当初)「農地集積基盤整備事業費補助金」（耕地課 50,000千円）P28再掲

●(12補)「やまなし産地生産基盤パワーアップ事業費補助金」

（果樹・6次産業振興課 284,885千円）P3再掲

### (3) 農村地域の保全・活性化

#### ① 都市と農村を結ぶ農泊プログラムの推進

- (当初)「やまなしリフレッシュ農泊推進事業費」(農村振興課 6,323千円) P23 再掲  
内容：農村地域の活性化と所得向上を図るため、農泊事業者が行う企業向けリフレッシュプログラムの開発を支援する。

- (当初)「山村振興等農林漁業対策事業費」(耕地課 5,993千円) P18 再掲

- (当初)「中山間地農業活性化推進事業費補助金」  
(農村振興課 29,000千円) P17 再掲

#### ② 農福連携の推進

- (当初)「次世代型農福連携パワーアップ事業費」  
(農村振興課(障害福祉課) 12,706千円) P23 再掲

#### ③ 農業・農村地域の多面的機能の保全と活用

- (当初)「農地維持・資源向上活動支援事業費補助金」  
(農村振興課 305,472千円) P25 再掲

- (当初)「中山間地域等直接支払事業費」(農村振興課 407,232千円) P25 再掲

- (当初)「中山間ふるさと・水と土保全対策事業費」(耕地課 11,276千円の一部)

- (当初)「中山間地農業活性化推進事業費補助金」  
(農村振興課 29,000千円) P17 再掲

#### ④ 農村地域の環境保全に向けた基盤整備の推進

- (12補・当初)「中山間地域総合整備事業費」  
(耕地課 12補：59,850千円 当初：1,168,037千円) P26 再掲

- (当初)「地域用水環境整備事業費」(耕地課 89,040千円) P27 再掲

- (当初)「調査設計事業費」(耕地課 104,500千円) P26 再掲

- (当初)「農業集落排水事業費」(耕地課 84,262千円) P26 再掲

- (当初)「基盤整備促進事業費」(耕地課 89,030千円) P26 再掲

- (12補・当初)「農村災害対策整備事業費」  
(耕地課 12補：47,250千円 当初：116,865千円)  
内容：災害に対して脆弱な中山間地域等に対し、地域で発生する災害から農村住民の生活を守るため、農業用施設や農村防災施設を総合的に整備する。

対象 3地区  
負担区分 国(55%) 県(29%)

#### ⑤ 野生鳥獣等による農水産物の被害軽減対策の推進

- (当初)「鳥獣害防止対策総合実践事業費」(農業技術課 49,232千円)

内容：野生鳥獣による農作物被害の防止対策を推進する。

- ・「鳥獣被害防止総合対策事業費補助金」（47,016千円）

補助先 市町村、鳥獣被害防止協議会等

内容 捕獲機材の導入、追い払い活動等

補助率 1/2、定額

- ・「鳥獣害対策指導体制整備事業費」（1,789千円）

内容 集落リーダー、技術指導員に対する研修の実施、鳥獣被害対策専門員の配置

- (当初)「カワウ食害防止総合対策事業費」（食糧花き水産課 4,986千円）

内容：カワウによる放流稚魚等への食害防止等を図るため、漁場巡回、駆除等の取り組みに対し助成する。

- ・「カワウ食害防止総合対策事業費補助金」（3,273千円）

補助先 県漁業協同組合連合会

補助率 1/2（県単）

- ・「カワウ飛来状況調査費等」（1,713千円）

- (当初)「コクチバス被害拡大防止対策事業費補助金」（食糧花き水産課 667千円）

内容：琴川ダムにおけるコクチバスの定着と河川等への被害拡大を防止するため、駆除の取り組みに対し助成する。

補助先 県漁業協同組合連合会

補助率 1/2（県単）

- (当初)「本栖湖における外来魚レイクトラウトの生息実態調査及び効率的駆除方法の確立」

（私学・科学振興課 9,735千円）

内容：本栖湖におけるレイクトラウトの生息実態を調査し、個体数抑制のための効率的かつ持続可能な駆除方法を確立する。

- (12補・当初)「畑地帯総合整備事業費」

（耕地課 12補：1,636,520千円 当初：1,410,362千円）P27再掲

- (12補・当初)「中山間地域総合整備事業費」

（耕地課 12補：59,850千円 当初：1,168,037千円）P26再掲

- (当初)「農地環境整備事業費」（耕地課 178,080千円）P26再掲

- (12補・当初)「経営体育成基盤整備事業費」

（耕地課 12補：80,780千円 当初：1,020,091千円）P26再掲

- (当初)「活力ある農業・農村施設整備事業費補助金」（耕地課 115,000千円）

内容：地域の多様なニーズに対応し、農業や農村の維持・発展を図るための施設整備に対し助成する。

補助先 市町村等

補助率 1/2（県単）

- (当初)「中山間地農業活性化推進事業費補助金」

（農村振興課 29,000千円）P17再掲

- (当初)「農地維持・資源向上活動支援事業費補助金」

（農村振興課 305,472千円）P25再掲

- (当初)「中山間地域等直接支払事業費」（農村振興課 407,232千円）P25再掲

⑥ **世界農業遺産の保全・活用**

●(当初)「世界農業遺産保全・活用推進事業費」(農政総務課 3,000千円)

内容：峡東地域の歴史ある果樹栽培や農業景観等を保全し次世代へ継承するための取り組みを推進する。

実施主体 峡東地域世界農業遺産推進協議会

内 容 子供向け農業体験プログラムの実施、住民向けワークショップの開催等

## 5 防災・減災対策による農村の強靱化

### (1) 農村地域の防災・減災対策の推進

#### ① 農業用施設の耐震化の推進

- (当初)「県営事業計画調査費」(耕地課 78,400千円) P26 再掲

- (12補・当初)「防災重点農業用ため池緊急整備事業費」

(耕地課 12補:645,750千円 当初:717,026千円)

内容:防災重点農業用ため池の受益地における大規模地震及び集中豪雨の被害を未然に防止するため、必要な防災対策を実施する。

事業主体	県
実施地区数	20地区
負担区分	国(55%) 県(34%)

- (12補・当初)「農村災害対策整備事業費」

(耕地課 12補:47,250千円 当初:116,865千円) P29 再掲

- (12補・当初)「土地改良施設耐震対策事業費」

(耕地課 12補:126,000千円 当初:77,910千円)

内容:大規模地震による農道橋への被害を未然に防止するため、必要な耐震対策を実施する。

実施地区数	2地区
負担区分	国(55%) 県(34、37%)

#### ② 農業用水利施設等の整備の推進

- (12補・当初)「たん水防除事業費」

(耕地課 12補:120,750千円 当初:116,865千円)

内容:台風、豪雨等による農地、農業用施設等の洪水被害を防止するため、排水機、排水樋門、排水路などを整備する。

事業主体	県
実施地区数	2地区
補助率	国(55%) 県(32%)

- (当初)「農業用河川工作物等応急対策事業費」(耕地課 55,650千円)

内容:洪水等による災害発生を未然に防止するため、農業用河川工作物の整備、補強等を実施する。

事業主体	県
実施地区数	2地区
負担区分	国(55%) 県(37%)

- (12補・当初)「用排水施設等整備事業費」

(耕地課 12補:135,826千円 当初:256,703千円)

内容:農用地及び農業用施設等の災害を防止するため、用排水施設などを整備する。

実施地区数 3地区

## (2) 農業用施設の長寿命化の推進

### ① 農業用施設の長寿命化の推進

- (当初)「土地改良施設維持管理費」(耕地課 117,074千円)
  - ・「土地改良施設維持管理適正化事業費補助金(60,000千円)  
内容:土地改良施設の機能維持や耐用年数の延長を図るための資金造成に対する助成  
補助先 県土地改良事業団体連合会  
補助率 3/10
  - ・「国営造成施設管理体制整備促進事業費補助金」(56,274千円)  
内容:管理体制の整備強化  
補助先 笛吹川沿岸土地改良区、釜無川右岸土地改良区連合  
補助率 10/10(国50%、県25%、市町村25%)
- (12補・当初)「かんがい排水事業費」  
(耕地課 12補:80,320千円 当初:211,470千円) P27 再掲
- (当初)「調査設計事業費」(耕地課 104,500千円) P27 再掲
- (当初)「農業集落排水事業費」(耕地課 84,262千円) P27 再掲
- (当初)「基盤整備促進事業費」(耕地課 89,030千円) P27 再掲
- (当初)「農業用河川工作物等応急対策事業費」(耕地課 55,650千円) P32 再掲
- (12補・当初)「土地改良施設耐震対策事業費」  
(耕地課 12補:126,000千円 当初:77,910千円) P32 再掲
- (12補・当初)「たん水防除事業費」  
(耕地課 12補:120,750千円 当初:116,865千円) P32 再掲
- (12補・当初)「用排水施設等整備事業費」  
(耕地課 12補:135,826千円 当初:256,703千円) P32 再掲

補助対象別主要事業一覧 No. 1 (生産関係施設)

事業名	育苗施設	穀類乾燥調整貯蔵施設	堆きゆう肥施設・散布機	動力溝掘機	種苗増殖施設	消毒用機械・施設	コンバイン	灌水用施設	温室等生産施設	菌類生産施設	運搬機械	農機具格納庫	防風・防霜施設	その他栽培用機械	種苗の購入	ぶどう棚・醸造施設	水産関係施設	機械・施設リース
農業用機械・施設整備事業費補助金 (担い手・農地対策課)	○	○	○	○	○	○	○	○	○		△	△	○	○		○		
経営発展支援事業費補助金 (担い手・農地対策課)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	△	○	○	△	○		○
やまなし新規就農アシスト事業費補助金 (担い手・農地対策課)																		△
やまなしスマート農業実装事業費補助金 (農業技術課)						□	□	□	□		□			□				
醸造用甲州ぶどう産地育成強化事業費補助金 (果樹・6次産業振興課)															○	◇		
ソフノワール早期産地化推進事業費補助金 (果樹・6次産業振興課)															○	◇		
やまなし産地生産基盤パワーアップ事業費補助金 (果樹・6次産業振興課)	△	○	△	△	△	△	△	△	△	△	△		△	△		△		△
すもも産地競争力強化支援事業費補助金 (果樹・6次産業振興課)															△			
もも産地競争力強化支援事業費補助金 (果樹・6次産業振興課)															△			
施設園芸等経営強化支援事業費補助金 (果樹・6次産業振興課)									△					△			△	
省エネ・再エネ設備導入加速化事業費補助金 (果樹・6次産業振興課)									△					△			△	
活力ある水田農業支援事業費補助金 (食糧花き水産課)	○	△	○	○	○	○	△	○	○		○			○				
富士の介生産拡大事業費補助金 (食糧花き水産課)																	○	
やまなし未来創造農業推進事業費補助金 (農村振興課)	☆	☆	☆	☆	☆	☆	☆	☆	☆	☆	☆	☆	☆	☆				

注) △は補助条件に特に留意する。◇はぶどう棚に限る。□は先進技術の実証に必要な設備等に限る。▽は補強に限る。  
☆は4パーミル・イニシアチブの推進、異常気象への対応、データ農業等に必要な機械・設備等に限る。

補助対象別主要事業一覧 No. 2 (生産施設：畜産関係)

事業名	飼料調整施設	飼料貯蔵施設	飼料収穫調製機械	飼料運搬車	放牧施設	糞尿処理施設・機械	農機具格納庫	堆きゆう肥施設
畜産経営基盤パワーアップ事業費補助金 (畜産課)	○	○	○	○	○	○	○	○
畜産環境総合対策事業費 (畜産課)						○		○

補助対象別主要事業一覧 No. 3 (流通・加工・販売施設)

事業名	畑作物等加工施設	茶等特用作物加工施設	果樹等加工施設	畜産物加工施設	農畜産物直売施設	集出荷施設	貯蔵施設	選別用機械	特産品開発
やまなし産地生産基盤パワーアップ事業費補助金 (果樹・6次産業振興課)	○	○	○			○	○	○	
ジビエ供給力向上事業費 (畜産課)				○					
活力ある水田農業支援事業費補助金 (食糧花き水産課)						○	○	○	
やまなし未来創造農業推進事業費補助金 (農村振興課)	☆	☆	☆	☆	☆	☆	☆	☆	☆

注) ☆は4パーミル・イニシアチブの推進異常気象への対応、データ農業等に必要な機械・設備等に限る。



補助対象別主要事業一覧 No. 4 (土地基盤整備)

事業名	用排水路整備	整地・客土	水田のほ場整備	農道の改良・舗装	かんがい施設	土壌・土層改良	畑・樹園地のほ場整備	暗渠排水	草地・飼料畑等の造成	伐採・抜根・改植	農地の防災対策・保全	防風施設	農地の流動化・集団化	ため池等の整備	排水機場の設置	地滑りの防止	鳥獣害の防止
やまなし担い手サポート農地整備事業費補助金 (担い手・農地対策課)	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○		○				
かんがい排水事業費(耕地課)	○				○												
畑地帯総合整備事業費(耕地課)	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○		○			○
広域営農団地農道整備事業費(耕地課)				○													
農村地域活性化農道整備事業費(耕地課)				○													
中山間地域総合整備事業費(耕地課)	○	○	○	○			○	○	○		○	○		○			○
農地環境整備事業費(耕地課)	○		○	○			○	○	○		○						○
耕作放棄地解消・発生防止基盤整備事業費(耕地課)	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○		○			○
経営体育成基盤整備事業費(耕地課)	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○		○			○
基盤整備促進事業費(耕地課)	○	○	○	○	○	○	○	○	○								○
農地集積基盤整備事業費補助金(耕地課)													○				
活力ある農業・農村施設整備事業費補助金(耕地課)	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○		○			○
用排水施設等整備事業費(耕地課)	○														○		
防災重点農業用ため池緊急整備事業費(耕地課)	○										○			○			
農村災害対策整備事業費(耕地課)	○										○			○		○	
農業用河川工作物等応急対策事業費(耕地課)											○						
土地改良施設耐震対策事業費(耕地課)														○			
たん水防除事業費(耕地課)															○		

補助対象別主要事業一覧 No. 5 (農村の整備)

事業名	営農飲雑用水施設	体験農園	農村集落親水・景観保全	集落防災施設	研修・交流等施設	高齢者活動支援施設	施設用地整備	ため池等水辺環境の整備	農村集落道整備	農村集落用排水施設	生態系の保全	簡易給水・排水施設
畑地帯総合整備事業費（耕地課）	○		○	○				○	○	○	○	
中山間地域総合整備事業費（耕地課）	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	
農業集落排水事業費（耕地課）										○		
地域用水環境整備事業費（耕地課）			○	○				○			○	
経営体育成基盤整備事業費（耕地課）	○		○	○				○	○	○	○	
防災重点農業用ため池緊急整備事業費（耕地課）				○				○				

補助対象別主要事業一覧 No. 6-1 (ソフト事業・セミハード事業)

事業名	推進会議の実施	研修会等の実施	構想・指針等の策定	各種調査の実施	実証ほ場等の設置	種苗の購入	生産資材の導入	農産物のPR	新技術等の導入	農地の利用調整	農地利用集積促進	果樹伐採・棚の再設置他	普及啓発活動	集出荷関係機器の整備	体験農園機械・簡易施設整備	
すもも産地競争力強化支援事業費補助金 (果樹・6次産業振興課)							○									
もも産地競争力強化支援事業費補助金 (果樹・6次産業振興課)							○									
施設園芸等経営強化支援事業費補助金 (果樹・6次産業振興課)							○									
薬用植物モデル経営体育成支援事業費補助金 (食糧花き水産課)						○	○									
やまなしの花産地生産力強化事業費補助金 (食糧花き水産課)					○				○							
中山間地農業活性化推進事業費補助金 (農村振興課)		○	○													
やまなし未来創造農業推進事業費補助金 (農村振興課)									☆					☆	☆	
「やまなし野菜」産地強化事業費補助金					○	○	○									

注) ☆は CO<sub>2</sub> 削減、気候変動への対応、スマート農業の導入に向けた機械・設備等に限る。

補助対象別主要事業一覧 No. 6-2 (ソフト事業・セミハード事業)

事業名	推進会議の実施	研修会の実施	構想・指針等の策定	各種調査の実施	生産組織等の活動助成	農産物等のPR	景観の保全・形成	集落共同活動の支援	鳥獣害の防止	国際水準GAPの認証取得	特産品開発
人・農地将来ビジョン策定支援事業費(担い手・農地対策課)			○								
GAP推進事業費(農業技術課)	○	○								○	
安全・安心ブランド農産物推進事業費補助金(農業技術課)		○		○							
鳥獣被害防止対策総合対策事業費補助金(農業技術課)	○								○		
環境保全型農業直接支払補助金(農業技術課)					○						
フェスタまきば開催費補助金(畜産課)						○					
茶産地育成推進事業費補助金(食糧花き水産課)		○			○	○					
やまなしの花総合振興対策費(販売・輸出支援課)	○				○	○					
富士の介販路拡大プロモーション事業費補助金(販売・輸出支援課)						○					
中山間地域等直接支払事業費(農村振興課)	○	○		○		○	○	○	○		
農地維持・資源向上活動支援事業費補助金(農村振興課)	○	○		○			○	○	○		
中山間ふるさと・水と土保全対策事業費(耕地課)	○	○	○	○			○	○			